

PCAタイプ精密輸液ポンプ レンタルがん性疼痛・術後疼痛管理用



PCA(Patient Controlled Analgesia/自己調節鎮痛法)は、 "患者さんの個人差"に対応する理想的な 投与モードです。



「PCA」とは、痛みが発生したら患者さん自身の判断で 鎮痛薬を投与する疼痛管理法です。

- ●痛みの状況に応じた患者さん自身の疼痛管理
- ●痛みの発現から鎮痛薬投与までの時間を短縮
- ●少量の薬剤で有効な鎮痛を実現
- ●医療スタッフによる薬剤の管理、投与などの 業務軽減

優れた携帯性

小型かつ軽量なので装着時の違和感や束縛感を 軽減することができます。

安定した流量

投与開始から終了まで安定した流量を提供します。

セーフティ構造

薬液の交換には専用のカギが必要 です。また、ロック機能により誤操 作を防止します。



様々な投与ルート

静脈、動脈、皮下、硬膜外腔、クモ膜下腔へ注入で きます。

高流量にも対応

最大250mLの薬剤を充てんできるので、高流量 の注入でも長時間の使用が可能です。

患者さんは ドーズボタンを押すだけ

設定した分量と速度で薬剤が投与され、 患者さんの痛みを和らげます。

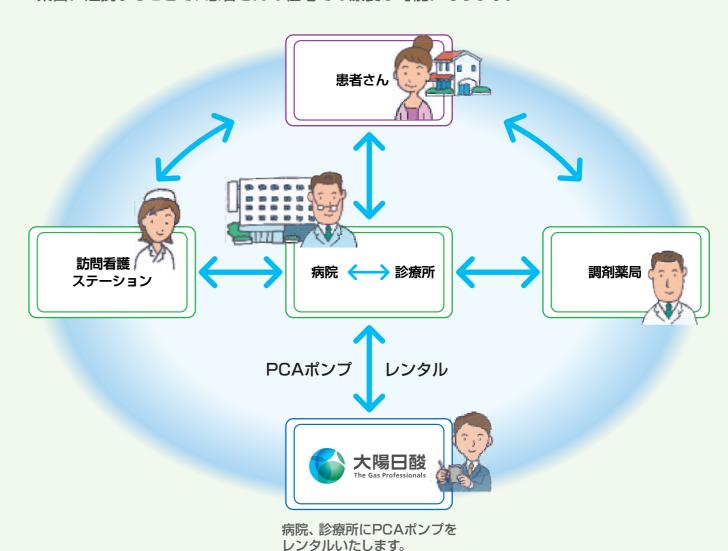
■診療報酬(保険点数)(2014年4月1日)診療報酬の算定方法については厚生労働省告示・関係通知をご参照ください。

基本診療料 入院基本料 A226-2 緩和ケア診療加算・・・・・・400点/日 (1)本加算は、一般病床に入院する悪性腫瘍又は後天性免疫不全症候群の患者 のうち、疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状又は不安、抑うつなどの精 神症状を持つ者に対して、当該患者の同意に基づき、症状緩和に係る専従の チーム(以下「緩和ケアチーム」という。)による診療が行われた場合に算定 特定入院料 A310 緩和ケア病棟入院料 30日以内の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・4.926点/日 31日以上60日以内の期間 ・・・・・・・・・・・・・4.412点/日

■記憶報酬(保険点数)(2014年4月1日) 診療報酬の算定方法について	は厚生労働省	旨告示・関係通	知をご参照ください。
基本診療料	特掲診療	料	
、	医学管理等	B001 22	がん性疼痛緩和指導管理料1・・・・・200点/月
1)本加算は、一般病床に入院する悪性腫瘍又は後天性免疫不全症候群の患者のうち、疼痛、倦怠感、呼吸困難等の身体的症状又は不安、抑うつなどの精神症状を持つ者に対して、当該患者の同意に基づき、症状緩和に係る専従のチーム(以下「緩和ケアチーム」という。)による診療が行われた場合に算定する。	医医医医医医罗普里特等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等等	B001 22 B001 23 B001 23 B001 23 B001 24 B005-6	がん性疼痛緩和指導管理料2 ・・・・ 100点/月がん患者カウンセリング料1 ・・・ 500点/回がん患者カウンセリング料2 ・・・・ 200点/回がん患者カウンセリング料3 ・・・・ 200点/回外来緩和ケア管理料 ・・・・・ 300点/月がん治療連携計画策定料1 ・・・・ 750点/回
寺定入院料 A310 緩和ケア病棟入院料 30日以内の期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	医医注注注注注麻学等	B005-6 B005-6-3 通則4 通則5 G003 G004 G005 L003	がん治療連携計画策定料2 300点 回 がん連携管理料 500点 回 精密持続点滴注射加算 80点 日 麻薬加算 55点 日 抗悪性腫瘍剤局所持続注入 165点 日 中心静脈注射 95点 日 中心静脈注射 80点 日 硬膜外麻酔後における 80点 日 局所麻酔剤の持続的注入
	リハビリ	H007-2	がん患者リハビリテーション料・・・・・・205点/単位

PCAタイプ精密輸液ポンプのレンタルサービス の導入により、院内から在宅まで、 さらに充実した緩和ケアが実現できます。

病院、診療所、訪問看護ステーション、調剤薬局、医療関連サービス業者(機器のレンタル業者など)が 緊密に連携することで、患者さんの在宅での療養が可能になります。



■診療報酬(保険点数)(2014年4月1日)診療報酬の算定方法については厚生労働省告示・関係通知をご参照ください。

特掲診療料	斗 在宅医療
C108	在宅悪性腫瘍患者指導管理料・・・・・・1,500点/月
C161	注入ポンプ加算・・・・・・・・1,250点/月
	合計 · · · · · · · · · · · · · 2,750点/月
C108-2	在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料・・・・・1,500点/月

- (1) 「在宅における悪性腫瘍の鎮痛療法又は化学療法」とは、末期の悪性腫瘍の患者 であって、持続性の疼痛があり鎮痛剤の経口投与では疼痛が改善しないため注射 による鎮痛剤注入が必要なもの又は注射による抗悪性腫瘍剤の注入が必要なも のが、在宅において自ら実施する鎮痛療法又は化学療法をいう。
- (2)(1)の鎮痛療法とは、ブプレノルフィン製剤、モルヒネ塩酸塩製剤、フェンタニル クエン酸塩製剤、複方オキシコドン製剤、オキシコドン塩酸塩製剤又はフル ルビプロフェンアキセチル製剤を注射又は携帯型ディスポーザブル注入ポン プ若しくは輸液ポンプを用いて注入する療法をいう。
 - なお、モルヒネ塩酸塩製剤、フェンタニルクエン酸塩製剤、複方オキシコドン

製剤又はオキシコドン塩酸塩製剤を使用できるのは、以下の条件を満たすバ ルーン式ディスポーザブルタイプの連続注入器等に必要に応じて生理食塩水 等で希釈の上充填して交付した場合に限る。

- ア 薬液が取り出せない構造であること
- イ 患者等が注入速度を変えることができないものであること
- (9) 在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料は、在宅悪性腫瘍患者指導管理料を算定す る指導管理を受けている患者に対し、当該保険医療機関の保険医と、在宅悪 性腫瘍患者指導管理料を算定する保険医療機関の保険医とが連携して、同一 日に当該患者に対する悪性腫瘍の鎮痛療法又は化学療法に関する指導管理を 行った場合に算定する。
- (10)在宅悪性腫瘍患者共同指導管理料を算定する医師は、以下のいずれかの緩和 ケアに関する研修を修了している者であること。
- アがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針(平成20年4月 1日付け健発第0401016号厚生労働省健康局長通知)に準拠した緩和ケ
- イ 緩和ケアの基本教育のための都道府県指導者研修会(国立がん研究セン ター主催)等

レンタル標準セット



PCAタイプ精密輸液ポンプ CADD Legacy® PCAポンプ



専用カギ



リモートドーズコード



専用ポーチ

消耗品標準セット



メディケーションカセット 50mL/100mL



エクステンションチューブ セット 114cm

消耗品大容量セット



メディケーションカセット 250mL



エクステンションチューブ セット 114cm

その他、用途に合わせた各種消耗品(バッグタイプ等)やアクセサリーをご用意しています。

■本体仕様

仕 様	
品番·品名	21-6300-09・CADD Legacy® PCAポンプ
販売名	デルテックポンプ CADDシリーズ
医療機器承認番号	16300BZY00148000
一般名称/分類	汎用輸液ポンプ/高度管理医療機器
特定保守管理医療機器	該当
ポンプ方式	フィンガー・ペリスタティック
寸 法	112mm×95mm×41mm(本体、突起物を除く)
重量	290g(本体のみ)
使用温度	+2℃~+40℃(結露なきこと)
送液精度	±6%
閉塞検知	179±96kPa (26±14psi、1344±724mmHg、1.82±0.98kgf/cm²)
気泡検知	0.250mL以上(Low設定) 0.100mL以上(High設定)
分解能	0.050mL/ストローク (専用セットを使用した通常の状態で)
乘气的组技 / 促灌/	NIX=#

电对的规恰/标题	丸的規格/保護の形式	
直流電源	3V(単三形アルカリ乾電池×2本)	
作動時間	約112時間(10mL/時で送液した場合)	
ACアダプタ	100V、50/60Hz、8VA、出力8V、300mA	
機器の分類	内部電源機器およびクラス II 機器、CF形、IP×4(防沫形)	

設定範囲	1	
薬液量	1~9999mL、OFF(1mL Step)	
投与単位	mL、mg、µg* (※µgは、本体液晶画面にはmcgと表示されます)	
設定濃度	mg/mL: 0.1/0.2/0.3/0.4/0.5/1/2/3/4/5/10/15··· 95/100 μg/mL: 1/2/3/4/5/10/15··· 95/100/200/300/400/500	
投与速度	0~50mL/時(0.1mL Step)	
ドーズ量	0~9.9mL (0.05mL Step)	
ロックアウト時間	5分~20分(1分間隔) 25分~24時間(5分間隔)	
ドーズ時間有効回数	1~12回	
有効ドーズ回数表示	0~999回	
総ドーズ回数表示	0~999回	
総投与量表示	mL/ μ g:0~99999.95(0.05 Step) mg:0~99999.99(0.01 Step)	
随時投与量	0.05~20.00mL(注入速度125mL/時)	

●ご使用の前には必ず「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。 ●当カタログに記載の仕様は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

大陽日酸株式会社

バイオ・メディカル事業部 ホームケア営業課

本社 東京都品川区小山1-3-26 東洋Bldg. 〒142-8558 TEL.03(5788)8340 FAX.03(5788)8710

http://www.tn-sanso.co.jp

東北支社 TEL.022(742)4770 北関東支社 TEL.048(646)0061 関東支社 TEL.044(549)9300 中部支社 TEL.052(533)8120

関西支社 TEL.06(6449)7080 中四国支社 TEL.082(241)8691 九州支社 TEL.092(482)0681 お問い合わせは

■製造販売元 スミスメディカル・ジャパン株式会社